

令和2年12月17日

お客様、関係先様各位

日本酸化チタン工業会

厚生労働省リスク評価検討会(有害性評価小検討会)の結論について

いつもお世話になりありがとうございます。

令和2年10月5日に化学物質のリスク評価検討会(有害性評価小検討会)が開催され、ナノ酸化チタン(アナターゼ型、表面未処理品)を対象にラットを用いた2年間の吸入によるがん原性試験結果が日本バイオアッセイ研究センターから報告されました。

試験結果としては、雌雄ラットに対するがん原性を示す不確実な証拠とされましたが、対応について標記検討会で審議の結果、がん原性の指針を策定し公表に至るまでの試験結果ではないとの結論となりましたので、お知らせ致します。

試験結果の詳細は下記 URL でご覧いただけます。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_13913.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13913.html)

当工業会としましては、酸化チタンのリスク評価検討会の進捗に関し、引き続きフォローして参ります。お客様各位におかれましては、本件に関しご不明点等ございましたら、ご購入先又は当日本酸化チタン工業会事務局までお問合せ下さい。

引き続き宜しく願い申し上げます。

以上